

北栄町立認定こども園業務改善プラン(令和5年度)の取組報告

保育教諭等の多忙解消及び負担軽減に向けた取組を推進することで、保育教諭等の心身の健康保持に努めるとともに、保育教諭等が幼児教育・保育に携わることへのやりがいを感じながら子どもの育ちを支えることができ、生涯にわたって働き続けることのできる魅力ある職場環境作りを目指すことを目的として、令和5年度から3年間「業務改善プラン」を作成し、取り組んでいる。

1. 取組の5つの柱に対する取組

(1)業務改善に向けた意識・体制づくり

- ①園長等を対象に、業務改善に関する研修会開催。「保育者の専門性を高める働きやすい職場づくり」(8月)
- ②業務改善アクション会議を年3回実施。重点的な取組目標を決め、園内で具体的な取組を実施。業務改善アクション会議で情報交換を行い、効果的な取組の共有、活用につながった。

(2)業務内容の見直し(軽減・削減)

- ①ICT(コドモン)を活用した事務手続き(登降園管理、各種連絡、アンケート、電子申請等)を実施。事務の効率化につながっている。また、園内の事務連絡や連絡事項の共有にLINEworksの活用が進んでいる。
- ②各種行事の見直しと体制整備
 - ・園長会にて業務や行事の見直しと改善策について検討実施。運動会、発表会は午前中開催、発表会の平日開催を継続。作品展から作品展示へ、写真アルバムの廃止に向けて協議実施。
- ③ウイルテックによる「こども園におけるDX推進事業」を活用
 - ・業務における課題を洗い出し、園評価表、年間行事計画、シフト表の改善を行う。公立園で成果物を共有し、活用する。
- ④環境整備における支援
 - ・芝刈りロボの導入(北条こども園、由良こども園)をし、職員の負担軽減につながった。令和6年度は大誠こども園で導入予定。

(3)ノンコンタクトタイムの確保

- ・ノンコンタクトタイム(事務・保育準備時間)の確保については、アンケートを実施し、改善に向けて協議中。

(4)適切な人員配置・人材確保

- ・適切な人材配置と人材確保に向け、配置実施。

(5)休暇・休憩時間の確保

- ・今年度の目標に「休暇、休憩時間の確保」を掲げ、各園で取組実施。

①休暇取得については、年次休暇取得目標の設定、計画年休の取組が休暇取得につながった。

②休憩がとれるように、時間確保や職員の配置がなされた。各園アンケートでも「休憩がとりやすくなった」との回答が過半数を超える結果となった。

2. 目標に対する実績

(1) 時間外業務時間

【目標】時間外業務時間の削減(令和3年度対比に対する割合:R5年度5%減)

時間外業務時間数 (R3年度年間平均時間外合計 109 時間)	R5	R6	R7
	5%減	10%減	15%減

【実績】時間外業務時間(年間)状況の推移(令和5年度の令和3年度比較割合)

所属名	R3	R5	R3年度比	増減
北条	151.2	55.6	37%	63%減
大誠	88.8	95.2	107%	7%増
由良	140.7	72.8	52%	48%減
大谷	57.1	103.0	180%	80%増
4園平均時間外	109.4	81.6	75%	25%減

(2) 年次有給休暇取得率

【目標】年次有給休暇取得率の増加(10日以内の取得者の割合)

年次有給休暇総取得日数取得率 (R3年度休暇10日以内取得者割合約59%)	R5	R6	R7
	55%	50%	45%

【令和5年度 園別年次有給休暇取得状況】

取得日数	北条		大誠		由良		大谷	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
5日以内	1	6%	0	0%	1	7.7%	0	0%
6～9日	7	41%	8	61.5%	3	23.1%	2	40%
10日～14日	5	29%	4	30.8%	8	61.5%	2	40%
15日以上	4	24%	1	7.7%	1	7.7%	1	20%

【実績】令和5年度 年次有給休暇 10 日以内取得者割合(令和3年度比)

園名	R3(人)	割合(%)	R5(人)	割合(%)
北条こども園	7	50%	8	47%
大誠こども園	5	45%	8	62%
由良こども園	6	60%	4	31%
大谷こども園	4	80%	2	40%
4園平均休暇取得	5.5	58.8%	5.5	45%

3. 今年度の成果と今後に向けて

北栄町立認定こども園業務改善プランの実施にむけて、園長及び各園の業務改善アクションリーダーを中心として、業務改善の取組(1年次)が進められてきた。

令和5年度は、令和3年度実施のアンケートで業務改善要望の高かった「休暇・休憩時間の確保」について園共通の重点目標として取り組んだ。

業務改善を推進するにあたって、各園から「業務改善アクションリーダー」を選出し、目標の具体的な取組の推進、アンケートでの実態把握や課題の洗い出しを行った。また、業務改善アクション会議を年3回実施し、各園の有効だった取組について協議し、各園の取組に活かしてきた。「令和5年度園業務改善報告書」の「実施後状況」では、休暇や休憩が「とれている」「とりやすくなった」「目標6日以上を達成」と報告されている。

目標に対する取組実績としては、園全体でみると「時間外業務時間の削減」、「年次有給休暇取得率」の状況はともに目標を上回る改善がみられた。

「時間外業務時間の削減」については、目標値を大きく上回る改善がみられた園が2園あり、全体として目標値を超えた改善につながってはいるが、時間外が微増、大幅に増加している園もあり、今後も原因の検証と改善に向けた取組を進めていく必要がある。

「年次有給休暇取得率」は、「休暇取得が少ない人を減らす取組」を進めてきた。10 日以内の取得者が令和3年度の約 59%から令和5年度は 45%となる等、改善につながっており、今後も取組を継続していきたい。

令和6年度も園の課題について検証し、園の体制整備や行事の見直し等、改善に向けた具体的な取組を推進していく。